

教科との関連

ミックスから教科学習（体育）への発展

氷見体験活動から、表現運動『プリンスサンバ』へ（発表の場は運動会）

【1学期】

十二町小学校児童との交流で、軽快な氷見の曲『プリンスサンバ』に出会う。

ゲームのバックに使われていた曲に児童が興味を持ち、手紙で尋ねる。

【夏季休業中】

氷見市商工観光課に問い合わせ、CDを送ってもらう。

【2学期】

児童の願いをもとに運動会の演技を「プリンスサンバ」にすることを決定。

「プリンスサンバ」をどんなふうに踊りたいか話し合う。

願い 氷見の定置網の漁師のように力強く

地引網でやったように、みんなで力を合わせて大きな魚が取れるように

リズムに合わせて元気に楽しく

踊りを創作する。学級オリジナル部分の踊りも児童たちで創作する。

氷見市商工観光課と十二町小学校に、歌詞の意味を教えるためにメールを送る。

和太鼓、法被をかり、演技に使用する。



お礼の手紙を各方面に送る。

教科との関連

ミックスから教科学習（国語）『体験したことを分かりやすく伝えよう』の題材にする。

学習過程

- 1、「伝えたいこと」について氷見の体験活動から材料を集める。（学習カード利用）
- 2、来年氷見へ行く4年生に「伝えたいこと」を文章に書くために、構成や詳しく書くところなどを考え、作文構成表を書く。（学習カード利用）
- 3、構成表をもとに作文を書く。

児童作文 『氷見へ行って』 5年

ぼくは、7月のはじめに氷見へ体験学習に行きました。そしていろんなことをしました。

ぼくが氷見へ行って一番楽しかったことは海づりです。海づりは、2時間しましたが、二人でやったので1時間ぐらいしかできませんでした。つりをはじめたばかりは、ぜんぜんつれませんでした。でも、場所をかえたらつれました。そして、ぼくは2匹つれました。でも、いっしょにやった三島君は1匹しかつれていませんでした。

次に楽しかったのは、地引あみでした。じぶんは、一番前でひいていたらべたべたになってしまってもちわるかったです。でも魚はたくさんとれていたのよかったです。その魚で作った大漁なべは、おいしかったです。

その次は、定ちあみ見学です。定ちあみ見学は、30分ぐらいしかしませんでした。でも、はじめてふねにのれたのでたのしかったです。それに漁師さんのあみをあげるところを見ました。でも大漁のクラゲがはっせいして魚はとりませんでした。

4番目は、まちたんけんです。ぼくがまちたんけんが一番びっくりしたことは、岐阜県より魚がやすいことでした。それにおいしかったです。

4年生のみなさんも5年生になったら氷見へたいけん学習に行くことになるでしょう。つりのときは、真ん中の方でまっていた方がいいし、地引あみも後ろの方がぬれなくていいです。それにおみやげは、海せん館に行ってからの方がやすいです。それがぼくが氷見に行ってわかったことです。